

# はじめに

コールユーブンゲン（合唱練習書）は、1867年ミュンヘン音楽学校の創立にさいして、合唱指導を委嘱されたフランツ・ヴェルナーによって著されました。合唱の授業を通じて和声学を実践的に学習し、旋律の進行・節奏・音程・和音などを楽器の助けなしで表象できる能力を養わせることが目的でした。

日本においては、明治時代に導入されて以来、合唱・ソルフェージュの基礎能力を養う音楽書として、現代に至るまで重要視され続けています。

今日では、教育大学（音楽）や音楽大学の入学試験課題としても取り入れられているのを始め、保育系の大学の試験や学習課題としても採用されています。

学生や受験生がソルフェージュの学習をする場合、通常は一週間に1回、音楽教室や教師の自宅に通いレッスンを受けます。本書（Vier Weg）は、特にソルフェージュ練習に注目し、自宅で学習する生徒の自習の補助教材として、学習者の十二分な助けとなるように開発されました。

第1巻ではソルフェージュ能力の獲得、第2巻では他の声部との関わり合いの上でのソルフェージュ能力を高めてゆきます。音楽を学ぶ生徒の基礎能力の向上、受験生の受験準備としてのみではなく、合唱活動を続けていらっしゃる合唱団員のレベルアップを計る目的においても、十分な成果が得られると確信いたします。

2010年11月7日

株) ジェイエムシー音楽研究所 大畑恵三